

2026年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	北野 マグダ・レーナ
基礎ゼミのテーマ	<b>How Are Languages Learned?</b> In this seminar, students will consider the best ways to learn another language. Theories of language acquisition will be introduced, and students will hold their own experiments. They will then report on their results in English.
サブテキストなど	All materials will be provided in class.
お勧め対象	This seminar is appropriate for any student who is interested in languages, and useful for those who are interested in teaching. The report will be written in English, so students should be willing to challenge themselves in English writing and be interested in improving their English writing skills. It is also best for students who are already confident in reporting and presenting in Japanese.

担当者名	木下 光弘
基礎ゼミのテーマ	<b>「麻辣湯（マーラータン）・ガチ中華・ガチ異国飯は好きですか？」</b> 「麻辣湯」や「ガチ中華」がブームとなっています。こうした食文化を入り口に、大学での学びの手法を学びます。まずは、テキストの輪読や図書館を用いた文献調査を学びます。後半は、フィールドにて、観察やミニ聞き取り調査を実践します。最終的には「在留外国人の歴史や問題」や「多文化共生（アジア）」について、自ら問いを立て、最終レポートを作成・発表します。 ※初年度のため、やや手探りであることをご了承下さい。
サブテキストなど	講義内で指示します。
お勧め対象	東アジア、北東アジア地域や日本で住む外国人について興味関心があり、文献調査もフィールド調査にも抵抗がない方を歓迎します。

2026年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	久保庭 慧
基礎ゼミのテーマ	<p>テーマ：「ずるい言葉」を解剖しよう</p> <p>「あなたのためを思って言ってるんだよ」「社会に出たらそんな甘えは許されない」「これは差別ではなく区別です」「正義の反対は悪ではなくもう一つの正義だ」。これらは、みなさんが生きてきた中できつと一度は聞いたことがある（あるいは言われたことがある）だろうセリフの一例です。こういうセリフにどこか「もやっと」したことがある人、「何かが違う…」と思いつながらもうまく反論できずに悔しい思いをしたことがある人はいませんか。</p> <p>このようなセリフに代表される言葉をここでは「ずるい言葉」と呼びましょう。残念ながら世の中にはこうした「ずるい言葉」が溢れています。そしてそうした言葉は一見すると正しそうに見えることも多く、よく考えないと応答するのも難しいため、往々にして皆さんを「もやもやの霧」の中に閉じ込めてしまうのです。そこでこのゼミではまず、こうした言葉を収集し、どうしてそれが「ずるい」のかを論理的に考える作業をします。こうした作業を通じ、言葉の持つ魅力と魔力について、皆でああでもない、こうでもない、と議論しながら考えてみましょう。</p>
サブテキストなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森山至貴『10代から知っておきたい あなたを閉じ込める「ずるい言葉」』（WAVE出版、2020年）</li> <li>・古田徹也『いつもの言葉を哲学する』（朝日新聞出版、2021年）</li> </ul>
お勧め対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常で使われるちょっとした表現に「もやっと」したことのある人。</li> <li>・言葉の持つ（正負双方の）力を信じている人。</li> <li>・ちょっとした疑問を仲間と共有して議論してみたい人。</li> </ul>

担当者名	サンドウ ロクサナ
基礎ゼミのテーマ	<p><b>How do we communicate across cultures?</b></p> <p>In this seminar, students will explore how people from different cultural backgrounds communicate in everyday situations. Through discussions and virtual exchange activities, students will examine differences in communication styles, values, and cultural expectations.</p> <p>Students will also learn the basics of academic research, including how to find and evaluate sources, organize information, and give presentations in English.</p>
サブテキストなど	All materials will be provided in class.
お勧め対象	This seminar is recommended for students who are interested in practicing communication across cultures. Class presentations will be conducted in English so students should be willing to challenge themselves in using English for academic presentations.

2026年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	孫 美幸
基礎ゼミのテーマ	<p>【おとなになるってどういうこと？自分らしい生き方を考える。】</p> <p>「おとなになる」とは、年齢を重ねて職業的に自立するというのが一般的な考え方もしれません。日本では社会的に自立すること（市民性を育み社会参加すること）や学校教育だけではなく生涯にわたって学び続けること等があまり語られてこなかった背景があります。</p> <p>そこでこのゼミでは、下記の3点から「おとなになること」を具体的に考えていきます。</p> <p>①18歳成人制度から「おとな」を考える。</p> <p>②自分自身の関心に目を向けて、多様な働き方を知る。</p> <p>③②に応じた生涯学習や社会教育の場を考える。</p> <p>参加型の教材を使ったグループワーク、卒業した先輩によるゲストトーク、生涯学習施設へのフィールドワークの機会もまじえて授業を進める予定です。</p>
サブテキストなど	授業内で適宜資料を配布し、参考文献もお知らせします。
お勧め対象	今後の進路悩み中の方、自分の関心が何か参加型ワークを通して考えたい方、多様な働き方や身近な生涯学習の場について知りたい方を歓迎します。

担当者名	千葉 克裕
基礎ゼミのテーマ	<p>【外国語を身につける仕組みと学び方】</p> <p>テキストを講読しながら外国語習得のしくみについて基礎知識を学びます。それらの理論を自分の英語学習に反映させるとともに、興味のあるトピックを選び、文献の調べ方・レポートの書き方と発表の仕方を学びます。</p>
サブテキストなど	「新版 外国語学習に成功する人、しない人」白井恭弘著 岩波科学ライブラリー 1,540円（税込）
お勧め対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来英語教師を目指す学生</li> <li>・効果的に使える英語を身につける方法を知りたい学生</li> <li>・外国語習得の仕組みに興味のある学生</li> </ul>

2026年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	塚田 穂高
基礎ゼミのテーマ	【ローカル／グローバルな地域の歴史・文化をとらえる―足立・草加・越谷を基点に―】 あだちキャンパスで4年間を過ごすのに、毎日素通りするだけではもったいない。東京都足立区、埼玉県草加市、埼玉県越谷市をメインフィールドに地域のことをもっと知ろう。市史・区史や行政資料、史料などを読み解きます。その地域の歴史と文化を前提としつつ、「民俗」「祭り」「名物」「まちづくり」「多国籍」「多文化」などをキーワードにフィールドワークに出ます。おせんべいも焼きますし、博物館・資料館にも行きます（交通費は若干かかります）。大学がある地域にどう関わっていけるかも模索していきましょう。
サブテキストなど	授業内で、またはmanabaを通じて、適宜資料を配布します。
お勧め対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学周辺の地域についての解像度を上げたい学生</li> <li>・歴史資料や統計資料などを探し出し、読み解けるようになりたい学生</li> <li>・社会学・民俗学・人類学・宗教学などに関わる地域調査の手法の基礎を学びたい学生</li> <li>・ローカルとグローバルの架橋に関心がある学生</li> </ul>

担当者名	本浜 秀彦
基礎ゼミのテーマ	「わたし×物語×映像」 誰かに与えられた「物語」に取り込まれるのではなく、自ら考えたオリジナルな「物語」を、映像でつくりあげることを目指します。スマホを使い、30秒、1分のショートムービーを何本か制作（企画～撮影～編集含む）。各種の映画祭、コンテストの入賞作品や、国立映画アーカイブや名画座などに出かけ観る映画史に残る名作からも制作のヒントを学びます。演出や演技をする側にも回るため、俳優を招いた演劇ワークショップも実施予定です。
サブテキストなど	教場で指示します。
お勧め対象	<p>以下に当てはまらない人（切実なお願い！）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝早く起きるのが苦手な人（映像制作は時間管理が大切！）</li> <li>・体を動かすのがおっくうな人。</li> <li>・映画を観ると眠たくなる人。</li> </ul>